家庭数配付

人権だより

美九里東小学校人権教育部　Ｒ３．６．３０

前期人権集中学習　6月11日(金)～6月25日(金)

テーマ　思いやりの種をまこう

～あいさついっぱい　笑顔いっぱい～

６／２５　人権旬間エンディング放送

エンディング放送では、「あいさついっぱい　笑顔いっぱい」にするために各クラスが取り組んだことの発表がありました。発表内容をご紹介します。

１年１組

「みんなが笑顔になる魔法のことば集め」と**「魔法のことばであいさつリレー」**をしました。おはよう・ありがとう・大丈夫・いいよ・頑張って・という言葉を使ったら、心が温かくなりました。

２年１組

「毎日、笑顔でげんきにあいさつリレーをする」と**「ふわふわ言葉でやさしさいっぱいのクラスにする」**ことの２つを決めました。あいさつリレーで、笑顔がいっぱいになって、うれしい気持ちになりました。また、「思いやりの木」に、友達の頑張りや、ありがとうの気持ちを葉っぱに書いて廊下に貼りつけたら、ふわふわ言葉でいっぱいになって、温かい気持ちになりました。

＜「人権の木」自分のがんばりたいこと＞

３年１組

「みんなを笑顔にする言葉を使おう。」と決めました。友達が「おはよう」と言ってくれてうれしかったので、「おはよう」と返しました。すると、「あいさつを返してくれてありがとう」と言ってくれました。すごくうれしかったです。

くすのき１組

「いい声を出すためにみんなで音読や詩を読む」ことをやりました。やってみたら、いい声がでました。これからもいい声であいさつをしたいと思いました。

4年1組

「相手が笑顔になる言葉を一人一人が考え、たくさん伝えよう」という目標を立てました。具体的には、「ありがとう」「すごいね」「がんばったね」などの２２人分の言葉です。２週間活動してみて、自分が言われたらうれしい言葉がたくさん増えたと思います。わたしは、友達が「黒板を消すのが上手だね。」と言っていたことが心に残りました。言われた人がうれしそうだったので、この言葉は素敵だと思いました。

5年1組

「誰にでも、自分から、積極的にあいさつをする」という目標が決まりました。意識して、よいあいさつをしようとしたら、「明るい声であいさつをすると、相手も大きな声でしてくれる」「大きな声であいさつをすると、相手も大きな声でしてくれる」「朝からいつも笑顔で過ごすことができる」ということに気づきました。これからは、恥ずかしがらないであいさつをするということが５年生の課題です。もっとたくさんよいあいさつをして、美九里東小学校をよい学校にしていきたいです。

6年1組

「自分から毎日15人以上、相手の目を見て、笑顔であいさつをする」を目標に取り組んできました。その結果、２１人中１８人が「よくできた」と答え、あとの３人は１日１０人くらいと答え、全員が自分から進んであいさつをすることができました。特に１６人が、朝が一番あいさつができたと答えました。

クラスでは、「いろんな人にあいさつができるようになった」「いつもより笑顔でできた」「日が経つにつれてだんだんできるようになった」という意見が出される反面、「昼間もあいさつができるようにしたい」「最初はできたけど、だんだんできなくなった」などの意見も出されました。

ぼくは、１秒の言葉、コミュニケーションを大切に笑顔であいさつをすることができました。あいさつを通して、人と関わることが大切だと思いました。遠くからあいさつをしても、気持ちが伝わるのだなと感じました。また、相手の目を見てあいさつをしたら、心が一つになると思いました。今年はコロナ禍でハイタッチや大きな声であいさつができなかったけど、目を見てあいさつをしたことで、心と心がつながったと思います。これからもあいさつを全力で頑張りたいです。

前期人権集中学習期間はエンディング放送で最終日を迎えました。今回は、人権教育の第一歩と言われるあいさつに焦点をあてて、人権について考える時間を設けました。上記のようにクラスで取り組み、個人でも行動目標を立てて取り組みました。

これからも、「思いやりの種を蒔こう　あいさついっぱい　笑顔いっぱい」を日々意識しながら継続して取り組み、思いやりの花を咲かせる後期人権集中学習につなげていきたいと思います。